



▲ 尼崎プラスチックファクトリーの外観

- 本社所在地：兵庫県神戸市東灘区
- 事業概要：古紙リサイクル、産業廃棄物・廃プラスチック処理、金属リサイクル
- 常時使用する従業員：210名
（2025年5月時点）
- 現在の売上高：45億円
（2025年5月期）
- 法人番号：5140001025036
- Web：https://matsudasan.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
松田 禎一

【企業理念】「"捨てる"をなくす」

当社は1963年の創業以来、廃棄物の再資源化を通じて環境と社会に貢献してまいりました。「"捨てる"をなくす」という企業理念のもと、廃棄物を「有価物」にすることを軸に据え、顧客の処理コスト削減と環境負荷低減を同時に実現してきました。この度、2031年に売上高100億円を達成する目標を掲げ、「循環型社会の実現を牽引する総合環境ソリューション企業」を目指します。この成長を通じて、廃棄物の収集から高度リサイクル、再資源化までのバリューチェーン全体を最適化し、環境負荷低減と経済価値創出を両立する循環型ビジネスモデルを確立してまいります。また、従業員に対する大胆な賃上げと地域雇用創出を通じて、地域経済の活性化にも貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・ 2031年の売上高100億円（同年の目標売上高117億円）達成に向け、CAGR18%程度の成長を実現する。
- ・ サーマルリサイクルからケミカルリサイクルへの転換により、環境価値と経済価値の両立を実現する。
- ・ 木屑処理等の新サービス開始と廃プラスチックリサイクル等の規模拡大により事業ポートフォリオの多角化を図る。

課題

- ・ 古紙リサイクル事業への高い依存度が価格競争リスクをもたらしており、第2、第3の収益の柱を構築することが急務である。
- ・ 廃プラスチック処理のための処理機が不足し、既存の処理ラインはオーバーフロー状態にある
- ・ 2027年からの上場企業CO2排出量公開義務化に対応する環境価値提供サービスの開発が必要である。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 大阪府大阪市港区に新工場を建設し、木屑処理やケミカルリサイクルの処理ラインを新設する。
- ・ 本社・神戸工場の増改築により産業廃棄物処理能力を向上させる。
- ・ 廃棄物総合管理システム「Wing」のCO2削減効果の可視化機能開発と活用強化により顧客囲い込みを図る。
- ・ 2027年度に東京の同業他社を買収し、関東圏への進出基盤を構築する。2031年度以降は年間1件のM&Aを実施し、関東圏・中部圏・九州圏への本格進出による国内フルカバレッジを実現する。

実施体制

- **社内体制**
 - ・ 木屑処理やケミカルリサイクル技術に精通した人材の採用と育成。
 - ・ デジタルマーケティング人材の採用・育成によるCO2削減効果の可視化と顧客提案力の向上。
- **社外体制**
 - ・ 取引先金融機関と連携による成長資金の調達と財務管理体制の構築。
 - ・ 木屑処理やケミカルリサイクル技術に精通する専門企業との連携による技術導入。
 - ・ 食品会社や物流事業者などのサプライチェーン企業との連携強化。